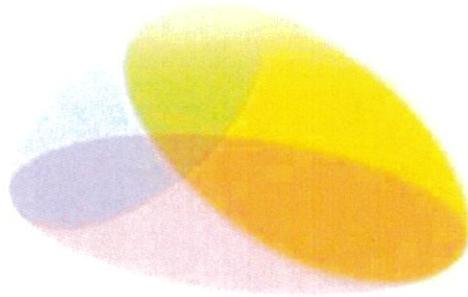


令和元年度
ラボラーレ
事業報告書（案）



みんなの「生きる」を
社会福补充入

II. 令和元年度ラボラーレ事業報告書（案）

関係法令を遵守するとともに『法人の理念』に基づき、利用者の意思及び人格を尊重し常に利用者の立場に立った個別支援計画を作成し、適切且つ良質なサービスの提供を行うことをあたりまえに、令和元年度の明確な方向性を職員全員で確認し、職員間の日々のコミュニケーションと、定期的な全体ミーティングで統一意識をはかり日々の業務にあたりサービスの質の向上、人材育成に力を注いだ。また業務の層を厚くし、より確実な土台作りと職員の円滑な業務遂行のための仕組みと環境づくりを構築し、働きがいのある衛生的な環境を整えるべく取り組みを行った。また各々のスキルアップを図るため、内部研修の開催、外部の各種研修へ積極的に参加した。

その結果、職員のモチベーションの向上と個々のスキルアップを重点に取り組み介護福祉士の資格を取得した職員もいる。しかしながら課題である就労支援事業収入増を図り平均工賃額1万5千円の目標達成には至らずの結果となっている。

1. 職員の配置状況

職名	施設長	サービス 管理責任者	看護師	生活 支 援員	職業 指導員	目標工 賃達成 指導員	機能訓練 指導員 (嘱託)	医師 (嘱託)
定数	1	1	1	12	1	1	1	1

2. 登録利用者の状況（令和元年3月31日現在）

（1）サービス区分毎 男女別登録利用者の状況

サービス区分	定 員	登録現員		計
		男	女	
就労継続支援B型	20名	12名	9名	21名
就労移行支援	0名	0名	0名	0名
自立訓練(生活訓練)	6名	4名	2名	6名
生活介護	14名	8名	10名	18名
日中一時支援	5名	7名	2名	9名
合計	45名	31名	21名	54名

(2) サービス区分毎 地地区別登録利用者状況

サービス区分	定 員	市町村名	計	合計
就労継続支援B型	20名	石巻市	18名	21名
		東松島市	1名	
		登米市	2名	
就労移行支援	0名		0名	0名
自立訓練(生活訓練)	6名	石巻市	3名	6名
		東松島市	1名	
		登米市	2名	
生活介護	14名	石巻市	14名	18名
		東松島市	1名	
		南三陸町	1名	
		登米市	2名	
日中一時支援	5名	石巻市	6名	9名
		登米市	3名	

就労移行支援：休止中

(3) 性別・年齢別の登録利用者状況

～14歳	名	名	名
15歳～19歳	1名	2名	3名
20歳～29歳	17名	9名	26名
30歳～39歳	5名	5名	10名
40歳～49歳	2名	4名	6名
50歳～59歳	2名	2名	4名
60歳～69歳	4名	1名	5名
計	31名	23名	54名

(4) 障害の状況

障害の状況	男	女	計
身体障害	10名	11名	21名
知的障害	24名	19名	43名
精神障害	4名	1名	5名
手帳なし	名	名	名
(内) 重複障害	8名	7名	15名
合 計 (重複含めず)	30名	24名	54名

3. 事業毎の稼働率状況

	定員	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
生活介護	14	102%	103%	100%	105%	99%	105%	106%	109%	90%	106%	101%	104%
自立訓練	6	51%	45%	53%	54%	51%	52%	49%	63%	45%	51%	68%	62%
就労B型	20	89%	87%	94%	93%	80%	90%	98%	95%	83%	95%	94%	91%
日中一時	5	107%	103%	101%	96%	85%	60%	53%	50%	49%	47%	39%	41%

※就労移行支援は休止中

4. 作業種別及び部門毎の活動状況

令和元年度は目標にしていた工賃 1万 5 千円以上を達成は未達成の結果となっている。

(令和元年度￥10,269 円)

(1) パン作業

令和元年度は、販路の開拓を行いながら目標以上の収益を上げることが出来た。外部販売については、月に 3 回ほど利用者様と一緒に支所や近隣施設、社会福祉協議会でのイベントに参加することができておらず、定着している状況である。

ご利用者様支援においては個別支援計画を基に目標を確認しながら支援を行っている。また販売を通じて、楽しみややりがいを感じ、お客様とのやり取りに自信をもってできるよう、職員自身が見本となり笑顔で丁寧な接客を心掛けることができた。今後も、自分たちが作ったものを手に取って購入頂き、喜びを感じていただけるように外部販売の機会を設けていく。

季節毎の限定商品については、広告を作成し外部販売先や他関係機関にもお知らせをさせて頂くことで、たくさんのご注文をいただくことが出来た。その際の配達にも職員間で協力をし柔軟に対応している。また毎年、連続して同じ限定商品のクリスマスツリーパン、お月見パンは、広告やラッピングの工夫は行ったものの、売り上げが伸び悩んだ為、今後は新たなセット商品の考案もしていかなければならぬと感じた。

パン給食については、月に 2 回程デザートも併せて提供することができご利用者様の楽しみとなっている。

常にお客様には、安心・安全においてよくラボラーレのパンを食べていただける為にも、異物混入は十分に注意しているが、利用者様からご注文いただいたブレッドの中に毛髪が混入した件があり苦情となっている。ご利用者様にはその内容をお伝えしており、それを踏まえ、今後もより一層身だしなみの確認を強化し、衛生面にも気をつけながら作業提供、販売を行っている。

(2) 廉房作業

・個々の掲げている個別支援計画に基づき、支援を行なっている。個々が課題に挙げている目標に関しては達成できるような声掛けを行ない、達成に向けて取り組んだ。しかし達成できた目標、なかなか達成に近づけない目標等さまざまである。今後も目標達成に向けて、声掛けの工夫をしながら取り組んでいく。

・作業面では、ご利用者様、職員の衛生面の強化を行ない、食中毒も起こす事無く安心、安全な食事の提供を行なう事が出来た。

食事の提供や近隣の施設へのランチ提供、石巻市の生きがいデイサービス、在宅弁当や近隣の小中学校への弁当作り、配達と作業の幅も増え、より緊張感を持ち作業に取り組み、作業に対しての責任感も増してきているように感じている。配達先では他者とやり取りする機会もあり、コミュニケーション訓練にも繋がっている。また苦手とする作業でも、段階的に取り組むことで、できることも増えてきている。日々、作業の中で失敗することもある中で、失敗を踏まえて次に生かせることもあり、失敗を恐れずにチャレンジすることや苦手な作業も熱心に取り組もうとする姿勢も見られてきている。今後も色々な作業を提供し、意欲的に取り組めるように支援を行なっていく。

また、作業中の挨拶、報告、連絡、言葉遣いなども訓練し、コミュニケーションを図ることが苦手な利用者様もいる中で、作業を通し訓練することでコミュニケーションの幅が広がってきている。(作業を介して他者との関わり・単語、オウム返し→敬語、文章を話せるようになっている等) 今後もやり取りをする中で、経験を積み増さね、発語する機会を多く設けながら作業を行っていくことや、厨房内の作業スペースが狭く、危険な箇所や危険な器具もある為、作業中の互いの声掛け合いをしながら作業を進めているが、作業に集中してしまうと、声を掛けることを忘れ、ぶつかってしまうことがしばしばされる。今後も継続し安全な作業提供を行なっていく。

・体調面においては、体調不良や疲労がたまる事で体調を崩してしまう利用者様もあり、一度休むと長引いてしまう為、体調面、疲労感の確認を行ないながら努めている。

・献立メニューについては季節を感じていただけるような食材を使用したり、イベントに応じてメニューを考えたりと皆様に喜んでいただけるように工夫を凝らしたメニューを立て、提供できた。個別の対応では刻み食やミキサー食の提供、麺類が苦手な方へのご飯の提供、丂が苦手な方へは皿盛りでの提供など利用者様の意向に応じて提供も行えた。

(3) ファーム&クリーン作業

F & C(ファーム&クリーン)作業

利用者様個々の個別支援計画をベースに定期的に行われるケース会議の情報を職員間で共有し合い、毎日の作業を通し、本人の特性を踏まえた上でその時に必要と思われる作業提供や本人の目標に沿った環境を作り出してきた。その結果、利用者様本人がやりがいや達成感を肌で感じて頂ける様、また作業の中で本人が出来た事を本人の目でしっかりと捉え感じて頂ける様、声にして成果を伝え、喜びと自信につなげる為の支援に取り組んだ。

■公園管理（登米市受託・登米市公園3箇所）

昨年は公園管理4ヶ所を3ヶ所に絞り、その時間分をイチゴ栽培に従事する時間の確保に充てている。作業単価においては登米市に単価引き上げを交渉してみたが、予算枠削減からの理由で増額には至らず、前年と同じ単価で請け負っている。施設外就労におけるご利用者様への支援については、これまで同様にご利用者様個々の施設外就労の目的やニーズに沿って、F & C職員で常に情報を共有、連携しながら、本人が目指すべき課題や問題を改善できるようご利用者様ひとり一人の特性に合わせた作業提供や支援を行ってきた。

【課題】

- ①様々な作業用具を取り扱うため本来の正しい使用方法が理解できていない事も考えられるため、事故やケガへの安全面への配慮が必要。
- ②屋外作業が主であるため、天候や気候の変化により、体調面への不調も起こりえる可能性があるため、体調面への配慮が必要。
- ③作業の内容が幅広く、お天気相手の作業であるため、作業日当日に作業内容が急に変わることも多く、天候や環境に応じた作業内容の変化への理解が難しい方も存在する。

《課題についての取り組み》

- ①作業内では様々な道具を活用する機会も多く、利用者様毎に取り扱い可能な道具を職員が毎回選定している。道具の使い方においては作業前に職員が道具の使い方を説明しながら見本をお見せし、その後一緒に使ってみて安全面を確認、最後に本人が使用する状況を見定めるという流れで道具に対する安全面には十分配慮しながら事故防止に取り組んだ。
- ②年間を通しての外作業である為、天候不順な日は公園作業の日程見直しや延期を行っている。夏の猛暑は、より利用者様の体調管理に気を配り、水分補給や休憩をこまめに取るなどし、冬は本人が寒さで体調を崩されない様、衣類調整のアドバイスや上着の貸し出しを行い、体調管理に十分配慮しながら作業を行ってきた。
- ③夏の猛暑で気温の高い日や冬の極端に気温の低い日などについては、利用者様の体調を優先し、作業日程の見直し延期等を行っている。当日の天候状況で作業可否を判断しなければならない為、変更になる場合は利用者様ひとり一人と向き合い、本人に理解して頂けるような言葉を選びながら納得頂ける様に努めた。

■イチゴ生産

令和元年度はイチゴの定植を2400株に増やし、気候状況に応じた環境面での適時対応、病害虫の定期的な防除、収穫量アップするための當時手入れを欠かさず対応した結果、収量面では昨年を大きく上回る結果が得られた。更に販路を増やし売上向上に結び付けることが出来たが、計画値（2,500,000円）に対し、実績（2,067,383円）で売上達成率82.7%という結果に終わっている。イチゴ栽培においては、植え付けの準備から定植、手入れ、収穫、納品準備に至るまでを皆で協力し、助け合いながら同じ作業を行う事で、相互の仲間意識や

コミュニケーション能力の向上につながり、同じ作業を繰り返す経験によって作業能力の向上にもつなげることが出来、本人の中で大きな成長と自信に結び付いていると思われる。

【課題】

- ①イチゴ栽培における抜本的な見直しを図り、栽培技術の向上と管理手法の確立が急務
- ②イチゴ栽培に携わる作業者の増員と育成
- ③収穫量と収益率の向上

《課題についての取り組み》

①イチゴの栽培に於いては、当初七ヶ宿の杜のイチゴ様より栽培指導を頂いていたが、すべての情報を無償提供するのは困難という理由で、近隣で同じ品種を栽培している農家を探し出し、情報の共有や、圃場管理についてのアドバイスを受けることが出来ている。

病害虫対策についてはホクサンや石巻農業改良普及センターに相談助言を頂き、薬剤等の効能や影響については、薬剤製造メーカーの技術サポートセンターを活用し、知識の向上に努めた。昨年度は新たに関係機関を身近に設けられたことで、安定した栽培から販売まで結び付けることが出来た。

②職員の増員については、農業専門員の職員にその都度対応可能な作業を判断しながら作業内容について説明し工数不足分を補っていたが、勤務時間が短い為作業が追いつかず、他部門からの職員の応援で最盛期の手入れや収穫を乗り越えることは出来たが、イチゴ栽培に対する職員の育成までには至らなかった。

③気候状況に応じた環境面での適時対応、病害虫の定期的な防除、収穫量アップするための常時手入れを欠かさず対応した結果、収量面では昨年を大きく上回る結果が得られた。収益率としては、一株当たりの収穫量を400gで見込んでいたが、出荷可能な品質の良いいちごが306gしか取れていない為、売上見込み額に達することが出来なかつた。夏場の高温によるイチゴへの影響や害虫による奇形果や乱形果も見られ、更にうどんこ病の発生とスリップスの発生により出荷できないイチゴを発生させてしまったことが最大の原因である。この点については翌年度から対策をしっかりと練り、発生の防止に努めていく。

■野菜生産

令和元年度はネギ栽培に力を入れ、最大の納品先である給食センターに対しての売り上げは¥443,538となり見込んでいた¥500,000の売り上げ目標に対し、売り上げ達成率は88.7%という結果だった。その他、納品規格に達しないネギに関してはヨーカドー販売やご利用者様に安く提供し無駄なく売る事ができた。給食センター、ヨーカドーのお客様、ご利用者様からは良質な野菜として好評していただいている。

その他として、これまで野菜の納品先であった食品配達事業を行っている(株)宮城ヨシケイから緩衝材シートや断熱シートの消毒作業、近隣の園芸農家からの花の播種作業や育苗ボ

ットのトレーへの並べ方作業といった委託作業を行っている。

また委託作業先からも、丁寧確実な作業であるとして作業量を増やしていただいている現状である。

委託作業の売り上げもあり令和元年度の売り上げ目標¥1,040,000 を上回り¥1,182,133という結果であった。これも、これまで積み上げてきた信頼関係の結果であり、今後も人と人との繋がりを大事にしていく事への重要性を認識した年度であった。

《課題》

- ①F & Cの利用者数が現在20名を超えており、利用者の特性、能力を知り、それぞれに適した作業提供が求められる。また就労に向けての支援の必要がある利用者の特性に合った個別の作業提供と得意を見つけ出すために様々な作業に取り組むことが出来る様、作業の事前計画を職員間でしっかりと組立て、綿密な連携を取りながら進めいかなければならない。
- ②生産性の向上における収穫量のアップ
- ③経費コストの削減

《課題についての取り組み》

- ①委託作業にて、人数を活かし迅速で丁寧を意識した作業を取り組む事ができた。他事業所から依頼されている作業である事を意識していただく事で責任感を養う事もできている。また正確性、協調性、集中力、判断力等の得意を引き出し、同時に苦手を訓練する機会にもなっている。事前計画と綿密な連携を継続し利用者様支援をより手厚く、委託作業もより丁寧確実なものとしている。
- ②ネギ生産を中心とした生産を行い他品目の生産を減らした事で、生産量は上がっているが、昨年度と比較しても作業に追われる事もなく効率的に作業を進める事ができた。
- ③生産する野菜を減らし、前年度と生産していた経験を活かし無駄のない薬剤の購入を実現している。

(4) 生活介護部門

安心安全を基盤とし、日々の課題やニーズに基づいた個別支援計画を基盤に運動や日中活動の機会を多く取り入れたサービスを行った。また日々のご利用者様との会話を通じて意向や意思を確認しながら季節やイベントを感じられる創作活動、レクリエーションを実施した。また日常の運動の状況を伝えたうえで、かつご利用者様・ご家族の意向を確認しながら、理学療法士の助言を受けマッサージや運動等を継続することが出来た。活動を行うなかでは、ご利用者様からの希望や発信を尊重し、本人のできること・強み・可能性を活かせるような活動提供や環境整備を行った。毎日の活動以外でも、季節ごとのイベントの実施・温

暖な時期には野菜や植物の栽培・散歩やハンドバイク等の野外活動・近隣の小学生や他事業所職員との地域交流の場など、ご利用者様の楽しみや通所意欲につながるような機会の提供も行った。

また、職員のスキルアップのための内部研修も定期的に行つた。さらに、よりよいスムーズなサービス提供のため、連携強化や情報共有を図ることを目的としたフロアミーティングを毎日行つた。サービスの質の向上のために、職員自身の強みも考慮した体制を整えながら日々の業務にあたつた。

支援者の多方面からの気づきの視点を大切にしながら課題提起と発案・改善を繰り返し、丁寧かつ根拠あるサービス提供を行つてゐる。

〈運動として〉

- ・理学療法士に現在の身体の状況を見ていただき、指導や助言を頂きながらマッサージやストレッチ、歩行器や平行棒を使用しての歩行運動等の実施
(個人の身体状況や運動内容の記録と管理)
- ・ペグ・洗濯ばさみ・将棋の駒等を利用しての指先の運動、創作活動や手あそびを通しての手や指先の運動の実施
- ・通所後、運動・活動前の体操とウォーミングアップ、昼食前の口腔体操の実施

理学療法士の機能訓練指導の状況

理学療法士（機能訓練指導）：氏家P.T.													
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
指導	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
人数	8	5	6	8	9	12	7	5	9	9	7	7	92

〈レクリエーション活動として〉

- ・施設内での運動や活動（ダンス、音楽鑑賞、ポールゲーム・宝探し・卓球・ボウリング・釣りゲーム等の体を動かす運動・塗り絵等）
- ・季節ごとの施設内装飾物、施設内イベントで使用する小物の作成
- ・書道展やアート展へ向けた作品制作と出展
- ・植物の定植と、管理しながらの施設内の環境美化活動
- ・近隣の小学生や他事業所職員との地域交流
- ・ハンドバイク体験会の企画と実施

〈各作業班との連携のもと、生活介護利用者様への作業提供・訓練として〉

- ・各作業場での作業
- ・イチゴ栽培で使用するトレーや発泡スチロールなどの拭き作業
- ・トイレで使用する備品の補充、使用する新聞たたみ
- ・P.C.を使用して、給食で使用するラベル・給食の材料表等の作成作業。フロア活動で使用する色紙や台紙の作成。
- ・レクリエーションなどで使用している物品・施設内備品の拭き方
- ・作業内容や日中の活動を日誌に記録し文字と文章の訓練

- ・施設内でのパンや野菜販売がある際の金銭のやり取りの訓練

(5) 自立訓練

個別支援計画に沿った、個々のスキルや要望、心身の状態や特性に合わせた作業提供（清掃作業、PC作業、事務作業、納品作業、発声・挨拶訓練など）を行った。安心して通える環境と、作業を通した挨拶や身だしなみ、報告・連絡・相談など、社会的スキルの習得を第一に考え、個別の必要性に合わせて、姿勢やコミュニケーションスキル、時間の管理などの支援も行うことで、少しずつ意識を積み上げていくことができるよう支援を行った。その中での小さな変化を見逃さずに声をかけることで、少しずつ意識が積み上げられてきた利用者もいる一方、時間の経過による慣れや年齢的なものからくる行動特性の変化など、対応が難しくなってきている利用者もあり、個々の変化に応じた柔軟な対応がさらに必要になってきていると感じている。ご利用者様の個々の目標やモチベーションに配慮し、隨時に確認しながら支援を行ってきたが、個々の特性や置かれている環境、現状に合わせた段階的取り組みへの配慮の不足から、職員の思いとご利用者様の思いが合致せず、結果的に職員側の一方的な支援になってしまったこともあった。より視野を広げた柔軟な視点での支援が必要であると再認識できた。

(6) 日中一時支援事業

日中一時支援の利用定員は5名であったが、体調不良や長期入院などの利用者様もあり、平均すると一日あたり3.5名の利用にとどまっている。

利用されている方々に対しては、各々の意向を確認し作業や余暇活動を提供している。

学校の夏休みや放課後の時間帯の利用希望もあり、柔軟に受け入れ対応している。

5. 令和元年度 就労状況

*就労状況

- ・就職者 1名（就労継続支援B型利用者）
- ・平成30年度に就職した方1名については、その後の定着支援を適宜行っている。

*就労への取り組みとして

○就労継続支援B型利用者様の施設外就労

- ・登米市公園（通年）

- ・イトーヨーカドーでの物販活動
- 施設外支援及び企業実習
 - ハローワーク、就業生活支援センターとの連携
 - 求人票の掲示、更新
 - 地域企業とのつながりの構築
 - 積極的な就労支援、企業見学、実習支援、職場体験、面接訓練
 - 就労へのモチベーション向上（利用者及びご家族）

6. 職員の資質向上策と福利厚生及び施設に関する事項

（1）外部研修参加状況

変化の激しい社会福祉施設とニーズの多様化へ対応するため以下の研修へ参加し、ミーティングを利用し研修参加者による報告会を開催し、職員各々の資質の向上に努めた。

月日	研修名	研修内容	場所	参加者
4/17	スキルアップセミナー	パニック障害・不安障害について	からころステーション	麻美・沖津
4/23～4/24	安全衛生推進者養成講習	安全衛生管理について	宮城労働基準協会会議室	萬代
5/13～5/14	強度行動障害者養成研修（基礎）	基本的理解	EDC 医療福祉学院	麻美
5/23～5/24	強度行動障害者養成研修（実践）	チーム支援	EDC 医療福祉学院	麻美
5/31	いちご栽培	栽培に関する事項	有限会社 杜のいちご	遠藤
6/19	スキルアップセミナー	成人の人格及び行動の障害	からころステーション	麻美
7/11	宮城県社会福祉施設中堅・監督職員研修	コーチングスキル	フォレスト仙台	安彦
7/17	スキルアップセミナー	知的障害について	からころステーション	麻美
7/30	コミュニケーション技術・対人援助技術研修	講義・演習	宮城県管工事会館	石川
8/1	TKC 経営支援セミナー	改正消費税とキャッシュレス決済	太白区中央市民センター	萬代
8/19	真空乾燥機について	真空乾燥機の見学	宮城産業技術総合センター	島本
8/21	スキルアップセミナー	発達障害を理解する	からころステーション	麻美

9/2	宮城県サービス管理責任者等更新研修	福祉施策の最新動向と自己検証	宮城県庁	安彦
9/19～9/20	宮城県サービス管理責任者等基礎研修	障害者ケアマネジメント（概論）	宮城県エレクトーンホール	沖津
10/17	サトー商会	秋の展示会	夢メッセ	かほる 貴子
10/18, 10/28	宮城県サービス管理責任者等基礎研修	サービス提供の基本的な考え方・プロセス等	東京エレクトロンホール宮城	沖津
11/8	福祉レクリエーション研修	リハビリテーション効果も期待される福祉レクリエーション	宮城県管工事会館	石川
12/16	宮城県サービス管理責任者等更新研修	福祉施策の最新動向と自己検証	宮城県庁	萬代
2/20	安全衛生推進者養成研修	安全衛生管理について	宮城労働基準協会会議室	遠藤

(2) 地域リハビリテーション推進強化事業に係るリハビリテーション相談支援

4/17	日常生活活動支援	実践、助言	宮城県東部保健福祉事務所より講師来所	担当職員
8/30	日常生活活動支援	実践、助言	宮城県東部保健福祉事務所より講師来所	担当職員

(3) 内部研修

安心・安全、サービスの向上と職員個々のスキルアップを目的とし、内部研修会を開催した。

月日	研修名	研修内容：講師	参加者
4/5	てんかん発作時の対応	講義、演習（講師：鹿野看護師）	全職員
5/21	排泄支援	個別支援、情報共有と確認（講師：阿部麻美）	女性職員
6/25	会計	収益と費用について（講師：会計事務所・吉田勉）	全職員
8/3	排泄支援	個別支援、情報共有と確認（講師：阿部麻美）	女性職員
8/6	排泄支援	個別支援、情報共有と確認（講師：阿部麻美）	女性職員
8/23	排泄支援	個別支援、情報共有と確認（講師：阿部麻美）	女性職員
9/7	障害者差別解消法	講義（講師：土井博貴サービス管理責任者）	全職員
12/13	障害者虐待防止、権利擁護	講義（講師：ラボラーレ登米・白土豪）	全職員

3/7	コミュニケーション講座	講義、演習（講師：菅原史恵）	全職員
3/21	「食べる」の勉強会	講義、演習（講師：鹿野看護師・阿部麻美）	全職員
3/26	排泄支援	個別支援、情報共有と確認（講師：伊藤安彦）	男性職員
全3回	KYTトレーニング (1/17、2/18、3/18)	講義、演習（講師：遠藤洋徳）	全職員

（4）職員の福利厚生の実施内容

職員の健康管理と施設内感染の予防を目的とし、健康診断及びインフルエンザ予防接種並びに腰椎検査、感染症対策を期した。

健康診断	対象者：全職員 受診数：14名	場所：サンクリニック
インフルエンザ予防接種	対象者：全職員 接種者数：18名	場所：ラボラーレ

（5）第三者評価受審

評価機関：NPO法人介護・福祉ネットみやぎ

契約日：令和元年7月26日

事前説明：令和元年9月4日

訪問調査：令和元年11月27日

評価結果報告：令和2年2月27日

評価結果確定日：令和2年3月3日

（6）その他（施設に関係する事項等）

地域・圏域における情報交換等のための会議、また施設整備に関する保安点検等を実施した。

就労ネットワーク会議	ハローワーク石巻	阿部麻美
石巻地域障害就労連絡会議	ハローワーク石巻	阿部麻美
マッチング商談会	石巻市役所	島本洋輔
桃生地域福祉推進委員会	社会福祉協議会桃生支所	萬代美保
食の自立支援	桃生支所	佐々木央

月日	名称	内容	場所／団体	職員
2/19	食品衛生監視	厨房作業場の検査、確認	石巻保健所	宗子
5/13. 11/11	消防設備点検	消防設備点検	宮城ノーミ	萬代・土井
9/18. 3/18	自動ドア保守点検	自動ドアの保守点検	フルテック	萬代
11/19. 3/26	冷蔵庫保守点検	保守点検	ホシザキ	宗子
5/15. 7/3 9/11. 11/1 1/17. 3/9	電気設備保守点検	電気設備の保守点検	日本テクノ	萬代
随時	車両点検	車両の保守点検	ディーラー	佐々木央

7. 見学者並びに訪問者の受け入れ状況

積極的に受け入れをし、ラボラーレの活動について多くの方に知って頂く機会を設ける取り組みを行った。

*施設見学者

月日	見学者件数	見学者数
4月～9月	7件	38名
10月～3月	7件	35名
合計	14件	73名

※個人での見学、他施設職員・保護者、民生委員 等

*支援学校実習

月日	学校名	人数
10/17～10/18	船岡支援学校 中学部3年生	1名
10/21～10/24	迫支援学校 高等部3年生	1名
10/28～11/1	石巻支援学校 高等部3年生	1名
合計	2校	3名

*職場体験事業

月日	内容
12/25～12/27	県内の高校生1名を受け入れ、実際の職場の雰囲気や取り組み、サービスを知っていただく。

8. 避難訓練の実施状況

通報、消火、避難誘導、乗車訓練、屋内退避等の動きを職員一人一人が理解し行動、訓練することで、非常時においても適切な対応がとれるよう、また利用者様が落ち着いて避難できるように以下の訓練を実施した。また、新規職員が新たに加わったこともあり、マニュアルの確認を行っている

避難訓練の内容

月日	訓練	内容	参加人数	
			利用者	職員
7/5	火災総合訓練 依頼：河北消防署桃生出張所	避難訓練 水消火器による消火訓練等	40名	18名
9/5	水害時の避難（図上訓練）	水害時の避難ルート確認 各職員の担当確認		18名
3/2	水害時の避難（図上訓練）	水害時の避難ルート確認 浸水想定区域の確認		18名

9. 行事等の開催状況

（1）施設行事

月日	行事名	内容	場所
5/24	ハンドバイク体験会 (協力：ハンドバイク協会)	乗車、走行体験	ラボラーレ
10/25	ラボラーレ感謝祭	日頃の感謝の気持ちを込めて演技披露、活動紹介DVD、カラオケ、交流	ラボラーレ
毎月	祝日に係る催事	利用者様も交えての催事	ラボラーレ

（2）地域交流行事

8/12	地域駐在所との交流会	駐在所職員との交流 パトカー展示、試乗体験	ラボラーレ
11/26. 11/29	中津山第二小学校 四年生交流会	ラボラーレの見学 利用者様との交流会	ラボラーレ

7/23, 2/18	ふれあい交流会	ミニゲームへの参加・ 信州そばの試食など	社会福祉協議 会桃生支所
2/14	桃生小学校 三年生交流会	キャップハンディに係 る体験学習、ラボラー レ利用者様からの体験 談	桃生小学校

10. 地域における公益的取り組み

・独居高齢者世帯の方を対象に、栄養バランスの摂れた食事を低価格で味わっていただきながら、外出と交流の機会を提供している。

※食事のほか、マッサージ機の使用やゆったりと時間を過ごして頂き生活に対する不安や話を聞き助言も行っている。

来所の期間が空いた際は担当ケアマネジャーと本人と連絡を取り合い体調確認等を行っている。